

参加申込規定

参加料(税抜)	半日参加料	1日参加料 (交代参加可)	2日間参加料 (交替参加可)
日本能率協会 法人会員	19,000円	34,000円	59,000円
会 員 外	21,000円	38,000円	67,000円

※テキスト費は含まれております。 ※昼食は付いておりません。
 ※本事業開催最終日の消費税率を適用させていただきます。
 ・法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>

参加申込方法

- ①申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXをお送りいただくか、ホームページからお申込みください。開催間際のお申込みは、ご参加いただけない場合がございます。あらかじめ電話でご確認ください。
- ②電話ではご予約のみの承りとなります。その場合でも申込書は必ずお送りください。
- ③参加証・請求書は開催1か月前から発送を開始いたします。なお、1か月以内のお申込みの時は、申込書受領後1週間ほどで参加証・請求書を発送いたします。
- ④参加料は請求書に記載されております。「お支払い期限」までに指定の銀行口座へお振込みください。期限までにお支払いいただけないお客様については、ご参加いただけない場合がございますのでご注意ください。なお、支払い期限が過ぎてしまう場合は、請求書の「入金連絡票」にてお振込み日のご連絡をお願いいたします。(振込み手数料については貴社にてご負担ください)

キャンセル規定

参加者のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。代理の方も都合がつかない場合は、下記によりキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。
 開催7日前(開催初日を含まず起算)～前々日…参加料の30% (万～キャンセルの場合は必ず
 開催前日および当日……………参加料全額 (ファックスでご確認ください。))

ご注意

- ・お申込みをいただいた方にはセミナーインフォメーションをお送りすることがあります。
- ・講義の録音・撮影はご遠慮ください。
- ・テキストは会場でお渡しします。参加者以外の方にはテキストはおわけいたしません。

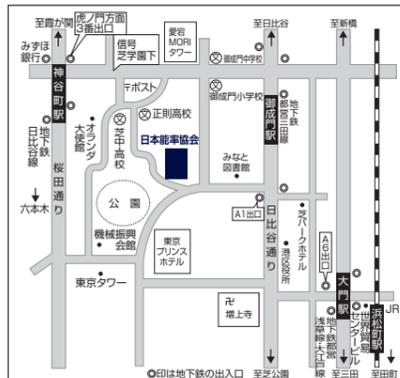
個人情報のお取り扱いについて

一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は小会の個人情報保護方針 (<http://www.jma.or.jp/privacy/>) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催し物に関する確認・連絡およびJMA主催の関連催し物のご案内をお送りさせていただく際に使用させていただきます。

会員制度のご案内
 一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした会員制度を設けセミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。是非この機会にご入会をご検討ください。
 資料請求先：プログラム内容の問い合わせ先まで

会場案内 日本能率協会・研修室 〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22
 (注)屋上に「JMA日本能率協会」の看板あり TEL03(3434)6271

- 地下鉄
日比谷線・「神谷町」駅
…3番出口より徒歩7分
都営三田線・「御成門」駅
…A1出口より徒歩5分
都営浅草線・大江戸線
「大門」駅
…A6出口より徒歩12分
- JR線・「浜松町」駅
…北口出口より徒歩15分
- タクシー
東京駅から約20分
浜松町駅から約5分



プログラム内容の問い合わせ先

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター
 TEL: 03(3434)0587 担当: 橋本

参加申込先

JMAマネジメントスクール 一般社団法人日本能率協会
 FAX: 03(3434)5505 TEL: 03(3434)6271 (直)
 E-mail: seminar@jma.or.jp URL: http://school.jma.or.jp/
 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
 (受付時間) 月～金曜日 9:00～17:00 (ただし祝日を除く)

免責事項

天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、小会ではその責任を負いかねますのでご了承ください。

(注)太線の枠内をご記入ください。

2016サービスロボット技術戦略シンポジウム		開催期日	参加者区分			
		2016年3月8日(火)～9日(水)	該当欄に <input checked="" type="checkbox"/> 印をご記入ください			
ふりがな		事業所名	<input type="checkbox"/> 日本能率協会法人会員 <input type="checkbox"/> 会員外			
会社名 (正式名称)			電話番号(市外局番からご記入ください)			
所在地			FAX番号(市外局番からご記入ください)			
ふりがな		所属 役職名	参加される日程に○印を ご記入ください。↓			
申込責任者名			3月8日(火)	3月9日(水)	受付No.	
E-mail		JMA主催の関連催し物のメール配信を希望 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない	AM	PM	AM	PM
ふりがな		所属 役職名	S1	S2	S3	S4
氏名						
E-mail		JMA主催の関連催し物のメール配信を希望 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない				
ふりがな		所属 役職名	S1	S2	S3	S4
氏名						
E-mail		JMA主催の関連催し物のメール配信を希望 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない				
ふりがな		所属 役職名	S1	S2	S3	S4
氏名						
E-mail		JMA主催の関連催し物のメール配信を希望 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない				
参加料		お支払い予定日	参加申込先 CKBB07			
●半日参加料(税抜) 円 × 人 ¥		____月 ____日払	JMAマネジメントスクール 一般社団法人日本能率協会 FAX: 03(3434)5505 TEL: 03(3434)6271 E-mail: seminar@jma.or.jp 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 【受付時間】 月～金曜日 9:00～17:00 (ただし祝日を除く) URL: http://school.jma.or.jp/			
●1日参加料(税抜) 円 × 人 ¥						
●2日間参加料(税抜) 円 × 人 ¥						
合計金額(消費税別) ¥						
参加証発行日	請求書発行日	領収日	【日本能率協会への連絡・希望事項欄】			

※参加証・請求書はこの方へお送りいたします。それ以外をご希望の場合は、連絡・希望事項欄へご記入ください。

第4回

2016 サービスロボット 技術戦略シンポジウム

～サービスロボット市場の拡大を支援する～

3月8日(火)	S1	サービスロボット市場の展望 ～サービスロボットはいまどこに向かっているのか～	AM
	S2	サービスロボットの市場拡大への支援 ～市場を拡大するための人材教育・産業創成・役立つ諸支援等～	PM
3月9日(水)	S3	超高齢化社会を支援する技術戦略と未来像 ～最前線の超高齢化支援技術～	AM
	S4	インフラ点検・災害/安全対策を支援する技術戦略と未来像 ～安全を守るサービスロボットとその技術～	PM

会 期 2016年3月8日(火)～9日(水) 2日間
(半日単位参加可能)

会 場 東京・港区・芝公園 日本能率協会 研修室

- 参加対象**
- ・ ロボット製造に関連する技術者・開発者、経営部門
 - ・ ロボット要素技術(センサ、制御、駆動機器、電源等)に関連する技術者・開発者、経営部門
 - ・ ロボットユーザ業界の担当者 他

開催趣旨

ロボット技術の向上にともないロボットの活用は製造用ロボットにとどまらず、新たな用途・市場への展開が加速している。超高齢社会への支援、介護・医療分野等多くの分野で普及が期待されており、関連する技術はわが国の新たな産業創生のため重要度を増している。
 本催しは、非製造分野におけるロボットの新たな用途・市場開発を促進するための技術動向、将来展望・事業戦略をテーマとして取り上げ、関連する産業の振興とロボット技術の普及、ならびに介護・医療、労働環境の改善・向上を目的として開催する。

3月8日(火)

※最新の情報はホームページ (<https://school.jma.or.jp/crt/>) にてご確認ください。
S: スピーカ (敬称略) ※プログラム内容等が変更になる事がありますので、予めご了承ください。

S1

サービスロボット市場の展望 ～サービスロボットはいまどこに向かっているのか～

10:00
12:50

1 ノーマライゼーションが生み出すサービスロボット新産業

- ① 高齢化の問題とは何か?
- ② 何がビジネスとして有望か?
- ③ その為に必要な技術とは?

S: 本田 幸夫 大阪工業大学 工学部 ロボティクス&デザインセンター 教授 / アルボット株式会社 代表取締役社長

2 次世代ロボットの法的リスクについて

- ① 次世代ロボットの物理安全と法的リスク
- ② 次世代ロボットの情報安全と法的リスク
- ③ ドローンの法規制と今後の見通し

S: 小林 正啓 花水木法律事務所 所長

3 すべての人に移動の自由を。トヨタパートナーロボットの实用開発状況

- ① 開発背景とビジョン
- ② 実用化を目指した開発と実証
- ③ お客様・仲間と創るロボット共生社会

S: 玉置 章文 トヨタ自動車株式会社 パートナーロボット部 部長

4 コミュニケーション型サービスロボットの实用事例紹介とその事例を踏まえた将来展望

- ① 实用事例紹介 (ハウステンボスの園内と変なホテル、ショッピングセンター、商店街、銀行、等)
- ② サービスロボットの实用事例に関する評価と考察
- ③ これまでの事例を踏まえたサービスロボットの将来展望

S: 竹内 清明 タケロボ株式会社 代表取締役社長

昼休み 12:50~14:00

S2

サービスロボットの市場拡大への支援 ～市場を拡大するための人材教育・産業創成・役立つ諸支援等～

14:00
16:50

1 市場を活性化するためのロボット技術者教育 課題とその解決法

- ① 技術で勝って産業化で後塵を拝する日本が問題
- ② 科学技術創成とその社会実装の並行実施が必要
- ③ ロボット社会実装コンテスト教育の世界の紹介

S: 佐藤 知正 東京大学 名誉教授

2 サービスロボット市場の拡大に向けた支援

- ① ロボット産業を俯瞰して
- ② サービスロボット産業の勃興に向けた取り組み
- ③ 三井住友銀行の取り組みについて

S: 吉田 達郎 株式会社三井住友銀行 成長産業クラスター・グループ長

3 R&D&I機能で、ロボット・IoTのサービス創出から市場化まで！ ～i-RooBO Network Forumの活動(仮)※最新の情報はホームページ (<https://school.jma.or.jp/crt/>) にてご確認ください。

- ① i-RooBOのR&D&I機能について
- ② 資金調達や実証実験など市場拡大に向けた取り組みについて

S: 萩田 紀博 一般社団法人i-RooBO Network Forum 副会長

3月9日(水)

※最新の情報はホームページ (<https://school.jma.or.jp/crt/>) にてご確認ください。
S: スピーカ (敬称略) ※プログラム内容等が変更になる事がありますので、予めご了承ください。

S3

超高齢化社会を支援する技術戦略と未来像 ～最前線の超高齢化支援技術～

10:00
12:50

1 介護・福祉ロボットで来るべき超高齢社会の新たな可能性を切り拓く

- ① 大和ハウスのロボット事業
- ② ロボット介護機器が期待される背景
- ③ 社会課題に新たな可能性を切り拓く

S: 田中 一正 大和ハウス工業株式会社 理事 ヒューマン・ケア事業推進部長

2 IoTの最新動向とサービスロボットとの融合

- ① IoTがもたらす産業へのインパクト
- ② IoTと融合した「歩行アシストカート」の事例
- ③ 将来展望

S: 須賀 高明 富士通株式会社 ネットワークサービス事業本部 IoTビジネス推進室 室長

3 介護現場から見た介護ロボットの課題と解決策

- ① メディアが伝えない介護ロボットの問題点
- ② 介護現場では、介護ロボットが嫌われているという事実
- ③ オリックス・リビングの事例から見る解決策

S: 入江 徹 オリックス・リビング株式会社 企画部 広報課長 兼 事業開発部

4 コミュニケーションロボットを活用した高齢者支援サービスの実現に向けた取り組みのご紹介

- ① 超高齢化社会に向けたNTTデータの課題認識
- ② 高齢者介護支援サービス実現のためのコミュニケーションロボットを用いた実証実験のご紹介

S: 渡辺 真太郎 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 技術革新統括本部 技術開発本部 サービスイノベーションセンタ ロボティクスインテグレーション推進室 室長

昼休み 12:50~14:00

S4

インフラ点検・災害/安全対策を支援する技術戦略と未来像 ～安全を守るサービスロボットとその技術～

14:00
16:50

1 レスキューロボットの開発と将来市場

- ① 災害ロボットの現状
- ② 技術的イノベーションと社会的イノベーション
- ③ 災害ロボットが拓くフィールドロボットの将来市場

S: 田所 諭 東北大学 大学院 情報科学研究科 教授

2 産業ロボット イノベーションで世界を繋ぐ

- ① 産業ロボットに期待される役割
- ② モビリティと付加価値
- ③ 新しい価値観の創造

S: 西海 弘司郎 株式会社ハイボット 代表取締役 CEO

3 社会の安全・あんしんを提供するALSOKの警備ロボットの現状とその未来

- ① ALSOKとロボット事業の取り組み
- ② 自律走行ロボット「Reborg-X」の紹介と導入事例
- ③ ドローンを利用した空撮サービスの紹介と導入事例

S: 三好 克幸 総合警備保障株式会社 営業推進部 ブロードマーケット営業室 課長